

SIMCO通信

2021年12月27日発行 129号 担当 神谷・田村

あっという間に今年最後の月になり、ついこの間ハロウィンが終わったと思ったら次はクリスマス。イベントが目白押しで、食事もより美味しい季節になりましたが胃腸を壊さないように楽しみたいですね。しかしながら、コロナ変異株(オミクロン)が日本にも入ってきたとニュースで報じられてきましたので、引き続きコロナ感染予防を徹底して良き新年を迎えたいです。

労働安全衛生



安全衛生推進を行うにあたり、期初に掲げた活動スケジュールに沿って、安全パトロールをはじめ毎月一回の啓蒙活動や年一回のイベント活動を行っております。近々の活動として「全国労働安全週間」の際当社では「安全標語」を全従業員に募集し、優秀作品・準優秀作品・佳作の3作品を決めさせて頂きました。

最優秀作品

「あわてずに 気持ちを切り替え 指差確認」
管理グループ 野島博之

準優秀作品

「気を付けよう 慣れた作業に 危険あり」
S-1グループ 田村知也

佳作

「ちょっとまって！ 立ち去る前に 安全確認」
S-1グループ 須田健二



金属熱処理技能士

S-2グループの永尾星也さんが見事、金属熱処理技能士1級試験に合格されました。

これで満足せず、より熱処理技術を探求し後輩が入ってもわかりやすい説明が出来る様、自分に磨きを掛けて指導できる立場になりたいです(本人談)

素晴らしいです！ 誠におめでとうございます。



(表面 営業グループ 神谷)

クリスマスについて



12月に入り、クリスマスシーズンとなりました。
そんなクリスマスに関するトリビアを少し紹介したいと思います。

日本でのクリスマスの始まりは、1552年に現在の山口県で信者を集めて、ミサが行われたこととされています。その後江戸時代のキリスト教禁止令により一旦途絶えることになったが、一気に日本でクリスマスが広まるきっかけになったのは、「昭和」が始まるときに、大正天皇祭として12月25日が国民の休日が制定されたこととされています。

クリスマスはキリストの誕生日だと思っている人が多いと思いますが、正確には誕生日ではなく、「キリストの誕生をお祝いする日」とされています。また、キリスト教で最も重要な祭と位置づけられているのはこの祭ではなく、復活祭(3月22日～4月25日のいずれかの日)です。



クリスマスツリーは、常緑樹であり古くから「永遠の象徴」を表した存在とされています。そして、ツリーの1番上に飾られている星形の飾りは、キリストの降誕を知らせたベルツヘムの星を表現していると言われています。

クリスマスの由来や歴史などについては様々な諸説があるとされています。ここでの解説はかなり雑なので、興味がある方はGoogle等で調べてみてください。こんな解説をしておいてなんですが、正直なところ難しい事は考えずにクリスマスを楽しむことを私はおすすめします(笑)。



ちなみに、私は彼女がいる訳ではありませんが、何故かクリスマスの独特の雰囲気が好きです。

どうでもいい担当者の日常のニュース

買い物中に自転車の鍵をかけ忘れてしまったことにより、自転車が行方不明になってしまいました。皆様も、自転車の鍵のかけ忘れにはご注意ください。



表面にある通り、「安全標語」で、私の作品がまさかの準優秀作品に選ばれました。とても嬉しいです。慣れた作業にこそ危険があるということに留意して、日々仕事に励みたいと思います。

今年の2月から、実家でシーズー犬の斗亜(とあ)ちゃんを飼っています。普段はおとなしいですが、食欲がすごく、家族が食事しているときは、食べ物への欲求がすごいです。たまに実家に帰ると、嬉しそうにお出迎えしてくれて、とてもかわいいです。

私が学生時代に所属していた合唱団が約2年ぶりに演奏会を開催することになりました。通常年2回開催していた演奏会が、コロナ禍でしばらく中止を余儀なくされていたので、OBとして、開催することが出来て嬉しく思います。



(編集後記)

12月に入り、一段と朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。私が入社してから2回目の冬を迎えることとなり、時の流れの速さを感じます。入社以来ずっと新型コロナウイルスに翻弄され続けていて、まだまだ長い戦いになりそうです。現在はやや感染が落ち着いているものの、気を緩めずに感染対策を続けていきたいと思っています。